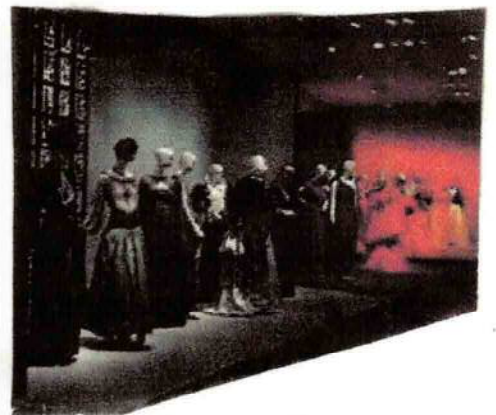


フランス・パリの珠玉の個性的な美術館たち

パリの美術館は、ルーブル美術館やオルセー美術館だけではありません。日本では見られないタイプの、当時の貴族の屋敷に、そのままの内装の邸宅美術館があったり、19世紀の印象派の画家のアトリエや住居をそのまま美術館にしたり、コレクターの富豪の邸宅が美術館になったり、邸宅だけでなく、広い庭園を作品展示の場にした。日本ではなかなか見られない、あるいは日本の美術館を作るモデルになった美術館など、芸術の街パリならではの、珠玉の個性的な美術館たちが、宝石箱の中のジュエリーのように輝いています。

時の大統領の名を冠したポンピドゥーセンターのような大きな美術館だけではなく、こうした個性的なキラキラとした美術館こそが、パリを彩っているのです。ガイドブックではなかなか目につかない、時にはちょっぴりマニアックな小さな宝石のような美術館を、人生の半分パリジェンヌなわたくしが、みなさまにご案内いたします。



東京大学文学部美術史学科卒業後、ヨーロッパへ留学し、イタリア・英国で美術品鑑定を勉強、1998年にパリに拠点を移した。アジア人初となる「オークション会社のサザビーズ」フランスの十八世紀家具部門を担当した経験などから、漆とアンティーク家具コレクションの魅力に迫らせていただきます。



開催会場：名東生涯学習センター

講座番号 31

曜日時間：火曜日 14:00～15:30

日程 1/24 1/31 2/7 2/21 2/28

受講料 2500円

(回数 全5回) 教材費 600円

講師名 高木 美香

〈なごやか市民教室事務局〉 052-321-1579